



# はちもり

校訓：海のように 波のように 岩のように

令和6年2月9日(金) 第37号 文責：安部 晃幸

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



## 感染症 猛威振るう

生と6年生を7日(水)まで学年閉鎖としました。それに伴い、今週予定していた6年生の薬物乱用防止教室や全校での縄跳び集会を延期しています。

閉鎖明けの8日(木)も2年生と6年生は、感染症による出席停止者は多かったです。感染の広がりは見られず、落ち着いた学校生活が戻ってきました。

しかしながら、まだまだ感染症への対策は必要です。学校でも手指消毒やマスクの着用など、感染症予防対策をより一層呼びかけていきたいと思えます。ご家庭でも、お子さんの健康に気を配っていただけますようお願いいたします。

先週末から、新型コロナウイルス感染症に罹患する児童が複数見られ心配していましたが、今週月曜日に新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、風邪症状の児童が一気に増えたため、特に罹患者の多い2年



## 心の中の悪いオニ、いなくなれ!! ~まめまき集会(1・2年)~

2月2日(金)、1・2年生が合同でまめまき集会を開きました。最初に、自分の心の中にあるオニを紹介し、自分で描いたオニの絵に新聞紙の「まめ」をぶつけて追い払いました。その後、教室に入ってきたオニ(鈴木岳行先生)を全員で退治しました。

これからは、一回り立派な1年生、2年生になった姿を見せてくれることでしょう。



## 一足早く中学生気分 ~八峰中入学説明会(6年)~

2月2日(金)、6年生が八峰中学校の入学説明会に参加しました。体験授業の後、全体での説明会や部活動見学を行い、一足早く中学生の生活を体験しました。

子どもたちは意欲的に参加し、中学校生活への期待を大きくしていました。



## 1年間の集大成 ~校内授業研究会(4年・算数)~

2月6日(火)、校内授業研究会がありました。これは、今年度、初任者として赴任した4年学級担任、佐藤正磨先生の授業提供による研究会で、1年間の初任者研修のまとめとなるものです。

「L字型の図形の面積はどのようにすれば求められるだろうか」の課題について、子どもたちは様々な方法で解決を試み、理解を深めることができました。子どもたちも先生も共にがんばりました。



## 今週の一枚

2月8日(木)、朝学習の時間を使って、「マス計算大会(ひき算)」が行われました。子どもたちは、自学でも取り組みながら、問題を解く正確さとスピードを鍛えてきました。きつとこれまでの成果を発揮できたに違いありません。写真は3年生の様子です。

## 授業の様子から



### 【1年】生活科

「6年生ありがとう集会」に向けて、6年生に渡すメダルづくりをしています。メダルの表面を色鉛筆でカラフルに塗り上げています。

### 【2年】算数

感染症による出席停止児童が半数いるため、各自で復習問題に取り組んでいます。久しぶりの学校ですが、落ち着いて学習に向かっています。



### 【3年】国語

たから島を冒険する物語の組み立てについて、みんなで話し合っています。つぶやきや発言をもとに、物語の大体が形づくられていきます。

### 【4年】理科

水の入ったビーカーを熱した後の様子について、グループで確認した後、全体で発表です。沸騰後に出てくる「あわ」の正体は？



### 【5年】家庭

学校や地域でのけがの防止について、これまでの生活をふり返ったり、資料を基にして考えたりして、意見を出し合っています。

### 【6年】算数

「データの調べ方」の学習で、中央値を求める学習に取り組んでいます。出席停止や欠席で2名しかいませんが、集中して臨んでいます。

2月14日は何の日でしょうか？  
 誰しも『バレンタインデー』と答えるに違いありません。でもこの日は、世界で初めて電話の特許を出願した日でもあるのです。(ちなみに、『煮干しの日』、『ふんどしの日』でもあります。)

1876年、スコットランド生まれの科学者、グラハム・ベルが電話の特許を出願しました。そして、1877年、2人の日本人青年がベルのもとを訪ね、電話機が初めて海外に持ち出されたのが日本だったので、これを契機に、日本は電話機に限らず、無線通信や真空管といった欧米の技術をどんどん取り入れ、国力を世界に見せつけていくことになりました。

ところで、電話をかけるときに日本人の誰もが「もしもし」と応対しますが、この電話の応対にはどんな意味があるのでしょうか。人を呼び止めるときなど、「もしもし」と使いますが、どうやらそれとはちよつと違うようなのです。

日本で電話が普及し始めるころは、全て交換手というものを介して回線をつないでもらっていました。交換手への第一声は「おいおい」だったそうです。それに対して、交換手が「これから言いますよ」という意味で、「申します申します」と言っていたそうです。

この交換手が繰り返し使っているうちに縮まって、「もしもし」と、そして「もしもし」となったのこのと。これが、一般的な応対の言葉として定着していったのです。

世の中はバレンタインデー一色かもしれませんが、2月14日には別の物語もあります。3月6日、毎日にな様な物語があります。今日は何の日か調べてみると面白い発見があるかもしれません。

(参考 『電通主任総合情報』)

つばき

2月14日は何の日？

バレンタイン  
今年もチョコは



オカンの一つ。